

重仮設リース業

は東日本大震災からの復興需要などは継続しているものの、工事の着工遅れなどで15年度はやや足踏みとなつた。丸紅建材リースの清水教博社長が都内で会見し、事業の現状と16年度の戦略を語った。(村上 倫)

丸紅建材リースの事業戦略

清水 教博社長に聞く

海外事業のエリア拡大

子会社強化でM&Aも視野

——15年度の事業環境を振り返って。
「上期は利益を前年同期に比べやや落としたが、通期見通し対比の達成率5割は確保した。売上げは前年同期をやや上回ったが賃貸収入の増加が寄与している。中期経営計画では賃貸重視を掲げており、単価も稼働率も改善できたのが主要因だ。ベースの賃貸がしつかりするのは一番い

い形だと思っている。連結子会社も前年比で落とすことなくそれなりに積み上げた」
——下期の事業環境は。

「最も活況な首都圏と東北の2地区で出件がやや遅れてきている。一方資材の戻りも稼働率だが、ほかは遅れがちで稼働率や賃

——主力の市原工場をはじめ全国でクレーン

——稼働率の現状は積極的に行っている

——事業会社の収益がスパート的なもの

率となっている。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最

率となっている。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最

率となつてはいる。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最

率となつてはいる。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最



率となつてはいる。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最

率となつてはいる。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最

率となつてはいる。宮城、イ丸建が落ちている。一つの方向性になる」
「丸建基礎工事は今の中期経営計画の最